

編集後記

特集で精神医学研究の進歩を専門分野ごとに数年おきにまとめて記録に残すことは精神医学・医療の発展に不可欠であり、本誌がこの企画を今後も計画的に継続していくことが必須であるという想いがこの特集の原稿を拝読して一層深くなった。今回の特集、「内因性精神疾患の死後脳研究」は長年直接研究に従事してこられた方々によるレビューであり、微細な器質的病変が想定されながらも近年まで見出されてこなかった統合失調症の微細な器質異常や機能的な精神障害と考えられてきている気分障害の神経細胞構築や血管の変化の詳細な実態が明らかにされている。この精緻なレビューが知識の整理と今後の研究に活用されるばかりでなく、他の分野への影響も計り知れないはずである。疑問点やご意見があれば Letters to the Editor にお送りいただきたい。

個々の症例の臨床症候を良く診ないで、マニュアル的な診断に終始した臨床データベースに基づく診断マニュアルも治療ガイドラインも怪しくなるといふ、巻頭言で指摘されている危惧は、その診断基準で行われた研究成果にも及ぶことになり、さらには、現在の ICD-XI や DSM-V の改定議論にも及ぶことになる。なぜなら、DSM-IV では気分の変動が認められると、たとえシュナイダーの一級症状があっても精神病症状を有する気分障害と診断することが可能であり、この基準で診断された臨床データをもとに神経病理、脳画像、遺伝子解析研究などが実施されている。わが国では DSM 診断に基づきながらも、まだ、臨床精神病理学に依拠する従来診断が併用されていることが多いので、DSM よりも狭く診断されている可能性がある症例を対象に、精神疾患についてのバイオマーカー研究が推進されている可能性がある。ドイツでこのような議論が起こっていないのか、寡聞にして承知していないが、DSM 一辺倒とも聞くので、わが国で行われた研究成果を ICD-XI や DSM-V に是非反映させる運動を起こしたいものである。

今月号掲載の投稿論文には、ドネペジルとスルピリドの併用による副作用、内視療法とストレス対処行動の変化、統合失調症の認知機能リハビリテーションの報告など、まさに臨床での経験に根ざした玉稿が集まったことに改めて感謝したい。

三寒四温などと優雅に表現するどころではなく、真冬と初夏が交互に繰り返すような早春を迎えています、くれぐれもご自愛下さい。

(M.M.)

■ 編集委員

飯森眞喜雄

井上 新平

小島 卓也

小阪 憲司

松本 英夫

松岡 洋夫

三國 雅彦

(ABC 順)

精神医学 (第 52 巻 第 4 号)

2010 年 4 月 15 日号 (毎月 1 回 15 日発行)

1 部定価 2,625 円 (本体 2,500 円 + 税 5 %)

2010 年 年 ぎ め 予 約 購 読 料 30,600 円・電子ジャーナル閲覧オプション付 39,800 円 (税込, 送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659・5660

振替口座 00170-9-96693

発行 株式会社 医学書院 代表者 金原優

☎ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

☎ 編集室直通 (03) 3817-5711 (担当) 三由・山崎

Fax (03) 3815-7802

E-mail seishinigaku@igaku-shoin.co.jp

URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/seishin/>

印刷所 三美印刷(株) 電話 (03) 3803-3131

広告申込 (株) ハイブリッジエージェンシー

電話 (03) 3814-0089

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2010, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は (株) 医学書院が保有します。

・ **JCOPY** (株) 出版者著作権管理機構 委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に (株) 出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3515-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

・ 医学書院ホームページ (インターネット) は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。